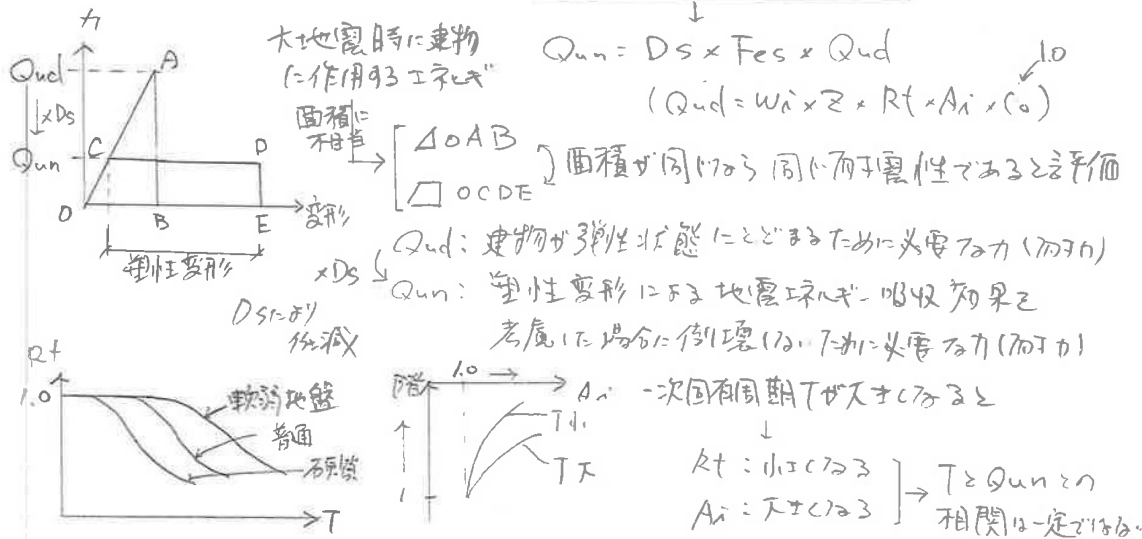


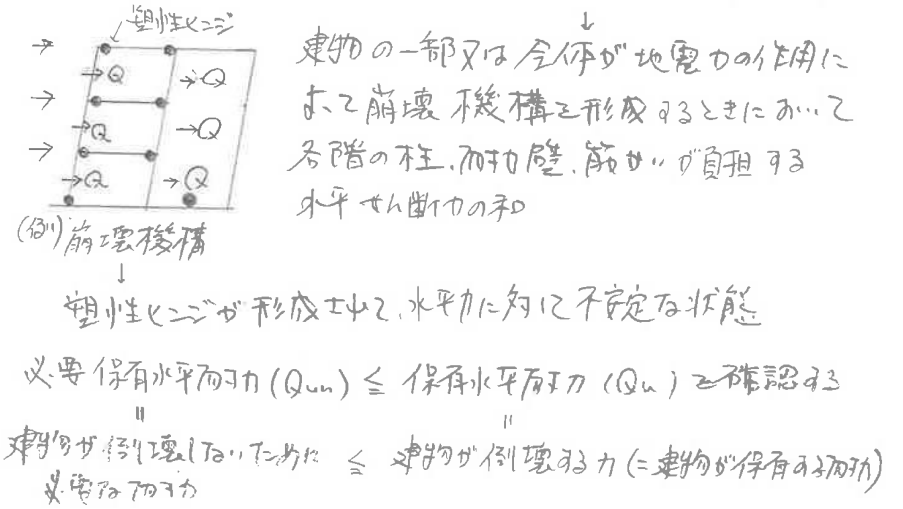
平成26年No24 保有水平耐力 (耐震設計)

1. 変形能力及び一次固有周期と必要保有水平耐力(Q_{un}) → 架構の変形能力が大きいほど Q_{un} は小さくなる
2. 保有水平耐力 (Q_u) → 建物が崩壊機構を形成するときに、柱、耐力壁、筋かいが負担する水平せん断力の和として求められる
3. Rc造スラブ付キ梁の終局曲げモーメント → スラブ片側につき1m程度の範囲内のスラブ筋を考慮して求められる
4. JIS規格品鋼材の基準強度割増し → 保有水平耐力の算定において、材料強度を基準強度の1.1倍とすることが出来る

1. 変形能力及び一次固有周期と必要保有水平耐力(Q_{un})



2. 保有水平耐力 (Q_u) → 建物が保有する水平方向の耐力



4. JIS規格品鋼材の基準強度割増し

↓ 降伏点にはばらつきがある
 実際の降伏強度は規格値より高目には寄る
 ↓
 材料強度を基準強度の1.1倍とすることが出来る

3. Rc造スラブ付キ梁の終局曲げモーメント (M_u)

